

# 市職員の勤務実態について

## 第50回衆議院議員総選挙における 選挙管理委員会事務局職員の過度な残業について

石崎:急に決定した「衆議院議員総選挙(10月27日投開票)」における選挙管理委員会事務局職員の時間外勤務はどの程度のものであったのか。

選挙管理委員会事務局長:9月で約30時間、10月で約290時間、合計で約320時間となり、**一般の職員6名中3名は10月の1ヶ月で月300時間超の時間外勤務を行なっている。**また、**管理職職員も約150~200時間の時間外勤務を行なっている。**

長時間労働の継続は心身不調の原因となる他、注意力不足等による事故の原因となる場合も考えられることから、時間外勤務の削減に取り組む必要があると認識している。



過労死認定基準(発症日の直近1ヶ月で月100時間超、発症日前2~6ヶ月間において月平均80時間超の残業)に該当する不適切な勤務環境であると言わざるを得ない。2025年は千葉県知事選挙や参議院議員選挙がある。衆議院はいつ解散し、総選挙が行われるか分からない状況。不適切な労働環境改善のため応援体制の見直しを強く要望する。



市川市議会議員

## 石崎ひでゆき 市での役割

- 国民民主党 千葉県総支部連合会 県連幹事  
総務・広報委員会 委員長
- 市川市議会  
会派:市民クラブ 所属  
総務委員会 副委員長  
議会運営委員会 委員
- 各種審議会  
国民健康保険運営協議会 委員  
勤労福祉センター運営委員会 委員



いちかわ市民まつり  
(市川市職員組合の皆様と)

1969(昭和44)年10月2日生まれ  
北海道旭川市出身、22歳の時に市川市へ  
千葉県立千葉商業高等学校 商業科 卒業  
産業能率大学 情報マネジメント学部 卒業  
株式会社ワンガン(自動車部品メーカー) 創業社長  
参議院議員 江口克彦(松下政経塾初代塾長) 秘書  
市川市議会議員(1期目:2011-15)  
参議院議員 渡辺美知太郎 公設第一秘書(2015-17)



S N S T つ な が ろ う

フォロー  
してね



市政のご意見・ご要望は  
石崎ひでゆきまで  
**080-4182-8284**  
国民  
つくろう、新しい答え。



# 国民民主

KOKUMIN MINSHU PRESS

千葉県連合会  
号外版  
令和6年12月17日

連絡先  
国民民主党千葉県総支部連合  
〒260-0027 千葉県千葉市中区新田町33-17  
TEL.043-306-3165

国民民主党 国民民主プレス 編集部 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 JBS永田町

市川市議会議員

# 石崎

ひでゆき



お知らせ



冬の寒暖差にご注意ください!

ヒートショックに気をつけましょう

入浴時のヒートショック対策はコチラ



## アスベスト対策について

### 民間建築物のアスベスト対策に係る本市の関わりについて

**石崎:**アスベストは高度経済成長期に多く使用されてきたが、人が吸い込むと深刻な健康被害を引き起こす恐れがある。現在、建築物の解体・改修工事について有資格者による事前調査等が義務付けられているが、発注者の費用負担軽減や市民の安心安全、市内事業者保護の観点からこの調査・除去工事に要する費用や、事前調査資格取得のための講習受講費用に対する補助金制度の導入について市の考えを伺う。

**街づくり部長:**一部の自治体では補助制度が導入されている。本市では、近隣自治体の助成制度の導入状況や内容等の調査研究と同時に、引き続き関係部署と連携し、手続きや現場のパトロールにより実態を注視していく。

### 石崎ひでゆきの考え



アスベスト含有建材使用の建築物は市内に数多く存在。市民や働く人の安心安全、市内事業者保護の観点から補助金の導入は必要!



石崎ひでゆき  
12月定例会  
一般質問の様子は  
←コチラから!



## 市内の福祉について

### 福栄4丁目市有地の医療的ケア者等に対応する生活介護事業所等に関するサウンディング型市場調査について

\*「サウンディング型市場調査」とは行政が民間事業者と直接対話して、公共施設の活用や街づくり事業などの事業検討段階で、市場性やアイデアを収集する調査のこと。「サウンディング」の語源は英語のsound(音)から来ている。



**石崎:**日常的な医療的ケアが必要な重症心身障がい児等の特別支援学校卒業後の通い先である生活介護事業所が少なく、特に行徳地区は顕著である。今回のサウンディングの状況や参加する民間事業者へのメリット等について伺う。

**福祉部長:**各事業所に対し、各種補助制度実施で整備を促進してきた一方、受入可能な事業所不足からほとんどの利用者が毎日同じ事業所に通えない状況にある(市内の受入可能な事業所は7か所、行徳地区は2か所のみ)。サウンディングへの申し込みは2事業者、調査に伴うインセンティブは市有地の貸出につき、公平性、透明性を求められることなどの理由から設定していない。



今回のサウンディングは行徳地区の対象者における地域課題解決の大きな一歩。参加実績を事業者公募等における評価の対象とすることで事業者の参加意欲を高めたい。

## 令和6年度市川市児童発達支援・放課後等デイサービス事業所合同説明会について

### \*説明会について

事業所の利用を希望する保護者が、会場内に設置された児童発達支援や放課後等デイサービスを提供する事業者のブースを自由に回り、対面で事業者からサービス内容について詳しい説明を受けられる機会を提供するもの。



**石崎:**10月24日(南行徳市民センター)、25日(全日警ホール)開催の本説明会の開催状況、今後の開催について市の考えを伺う。

**こども部長:**開催状況は2日間で43か所の事業所が参加、来場者数は433名(当初の予想は約200名)であった。次回開催に向け、より広い会場の確保、ブースの配置の工夫、「参加事業所一覧」をより効率的なものにするといった改善点が挙げられた。事業所と内容を共有し、協議を進めていく。

### 来場者の声



いろいろな事業所の話を1日で聞けたので良かった!

説明会を継続してほしい!



想定の2倍以上の来場者があったと確認できた。事業者と更なる連携を強化し、来年度以降も定期的な開催を希望!

